



少年の主張佐賀県大会、職場実習体験発表会

校長 鶴田 欽也

白露、秋分と季節は進み、9月下旬となりました。朝夕は随分涼しくなり、さまざまな虫の声が聞こえてきます。9月に入り2週連続で9号、10号と大型で非常に強い台風が佐賀へ接近しましたが、幸いにも学校には大きな被害はありませんでした。

さて、今月は7月から9月にかけての出来事を紹介します。

■ 少年の主張 佐賀県大会

8月23日（日）第42回少年の主張佐賀県大会が佐賀市のアバンセで開催され、本校からは中学部2年小林神誓さんが出場しました。今年の少年の主張は佐賀県下で632編の応募があり、小林さんは県大会発表者10名に選ばれ、アバンセホールのステージで自分の意見を発表しました。

小林さんの発表のテーマは「地球温暖化を防ごう」で、地球温暖化についてマクロの視点からの指摘や、私たちの身近な問題として捉えた対応などを発表しました。小林さんは当日の発表順は最後で、自分の発表を待つ間は多少緊張したかもしれませんが、ステージ上では自分の意見を堂々としっかり伝え、とても立派な発表でした。

■ 職場実習体験発表会

9月1日（火）理療科の職場実習体験発表会を開催しました。今年の職場実習には、保健理療科3年2名と専攻科理療科3年1名の計3名が参加しました。3名はそれぞれに8月上旬の3日間、自分が希望する病院や事業所に出向き、校内の実習では経験できない現場を体験しました。猛暑の中、三者三様、苦勞しながらも実り多い職場実習となったことが垣間見える発表でした。内容の一部を紹介します。

- ・病院の方のやさしい対応やことば遣いと、患者さんがみんな笑顔で帰っていたところがよかった。
- ・患者さんが安心するようなことばかけが行われていた。
- ・患者さんが喜ぶ様子（できなくなったことが、再びできるようになったときの様子）がたいへん励みになった。
- ・最初さっぱりわからないこともあった。仕事のたいへんさや、自分の未熟さを痛感した。努力していきたい。

3年生は卒業まで残すところ約半年、これまでの努力の総決算の時期に入りました。もちろん、国家試験合格が最終目標ではないはずですが、国家資格取得のその先を念頭において、がんばってください。

■ 看過できない事態

7月以来、運動場に犬のフンが放置されているとの報告が続いています。闇に乗じての行いのように、困っています。

昨年も7月に同じようなことが起こりましたが、犬の散歩厳禁の貼り紙をしたところすぐに止まりました。今年はあれこれ対策を打っているにもかかわらず、2か月ほど続いていて、8月末からは児童が毎日利用する滑り台や遊具の近くにもフンが放置されていたとの報告、これは看過できないと思っています。

（お知らせ）

9月27日（日）第48回文化祭（テーマ「奏でよう一人ひとりの音色 どこまでも響け!!」）を開催予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一般の方の参観はご遠慮いただくこととしました。ご理解いただければ幸いです。

障害者職業能力開発校について

本校生徒の進路先の一つとして、障害者職業能力開発校があります。障害者職業能力開発校とは、身体障害者や知的障害者等に対して、その能力に適応した普通職業訓練または高度職業訓練を行う公共職業能力開発施設です。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営する施設としては、岡山県加賀郡の「国立吉備高原職業リハビリテーションセンター」があります。本センターには、視覚障害者を対象としたITビジネスコースがあります。本コースの訓練期間は2年間で、訓練終了後は一般企業等に事務員として就職しています。

幼小 学部

盲学校独自の学習として点字の学習があります。6つの点の構成で作られている触察文字である点字の読み書きを実態に応じて学習しています。学習の初めは、線たどりからです。

また、見て観察するのではなく、触ったり、においを嗅いだりして観察する触察の学習にも取り組んでいます。季節の果物や野菜、時には生の魚なども触って観察します。



トモロコシは皮をむき中身を調べます。リンゴのにおいや手触りを観察。



点字の線たどり



点字盤



中 学部

8月下旬から、文化祭に向けての取り組みが始まりました！中学部は「栄光の架橋」の歌詞をモチーフにして、それぞれの思いをメッセージにしたり、群読、合奏で表現したりと盛りだくさんです。



電子ドラムも登場

また、例年交流している城北中には、ビデオレターを送って、映像での参加をお願いしています。

1人1人が自分の意見を述べながら、努力して、協力して少しずつ仕上げていく過程に、大きな成長が感じられます。それぞれが輝ける発表になると思いますので、応援よろしくお祈りします！



高 等 部

【理療科職場実習体験発表会】

8月に職場実習を行った理療科3年生3名による体験発表会が9月1日に行われました。生徒達は今回の実習で多くのことを学び、新しい決意をする機会になったようです。



【普通科文化祭準備】

文化祭に向けて普通科全員が協力して、ステージ発表のための制作活動に取り組んでいます。完成が楽しみです。



寄 宿 舎

かつてない程の酷暑が台風10号とともに過ぎ、吹く風にも秋らしさを感じるようになりました。

「今日はブランコ行けるかな？」夕食後、涼しくなった時間帯に秋の風を感じながら楽しそうにブランコを漕ぐようになりました。時折聞こえるカラスの鳴き声や楽器の音にも耳を澄ませています。

「あとで遊びに行くね！」自分がしなければいけない事を済ませてから、お部屋訪問。楽しいおしゃべりに花が咲きます。コロナウイルスのご時世のため、距離を保ち同じ方向を向いてのおしゃべりになりますが、いい笑顔を見せてくれています。

「ここはどう折るのかな」折り紙好きな舎生たちがひまわりの花を折っています。ふたりの協力で本物に負けない大輪のひまわりができました。文化祭には、ひまわりの花が誇らしげにどこかで咲いている事でしょう。

秋は新しい趣味を始めるには最適な季節と言われています。余暇の過ごし方は自分らしい生活を送る上で、とても大事な事のひとつになります。それぞれが色々な余暇の過ごし方を見つけ、たくさんの経験をして舎生活、またそれ以降の生活を彩ってほしいと思います。

見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672